

平成 26 年 7 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール
 代 表 者 名 代表取締役 平井俊広
 (コード番号：6064 東証マザーズ)
 問 い 合 せ 先 専務取締役管理部長 菊井聡
 電 話 番 号 0 3 - 5 3 1 2 - 2 3 0 3

平成 26 年 11 月期第 2 四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 1 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 11 月期第 2 四半期（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 5 月 30 日）の連結業績予想を、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 11 月期第 2 四半期累計期間の業連結業績予想値（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,281	百万円 △39	百万円 △58	百万円 △75	円 銭 △60.90
今 回 実 績 (B)	1,162	△69	△79	△110	△89.26
増 減 額 (B-A)	△119	△29	△21	△35	
増 減 率 (%)	△9.3%	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 25 年 11 月期第 2 四半期)	877	32	25	6	5.26

2. 業績予想の修正理由

上期（第 2 四半期連結累計期間）は、主力事業である住生活関連総合アウトソーシング事業において平成 25 年 9 月よりサービス提供を開始した、賃貸物件入居者向けの家財総合保険付き緊急駆けつけサービス「入居者総合補償サービス」および家賃収納代行機能付き緊急駆けつけサービスの会員数が、春の引越・入学シーズンに大きく増加することを計画していました。しかしながら、新規サービスの契約は予想通りには伸びず、実際の販売数は計画を下回りました。

一方で、持家市場向けサービスの件数が予想を上回り、また原価低減、販売管理費の削減などにも注力いたしましたが、上述の新規サービス売上の未達幅を取り返すまでには至らず、結果、売上高、営業利益、経常利益および四半期純利益において、前回予想を下回ることとなりました。

なお、平成 26 年 11 月期通期の連結業績につきましては、直近で取り組んでいる住生活関連アウトソーシング事業における持家市場向けサービスの伸長が順調なこと、また不動産総合ソリューション事業において手がけているプロジェクトが計画通り進捗していること等を鑑み、平成 25 年 1 月 15 日に公表の計画値を据え置くことといたしました。今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定な要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

以 上